

リーディングDXスクール事業【実践事例】

長崎市立西泊中学校

【取組内容】 クロームブックの持ち帰りによる家庭学習の充実

クロームブックの利用の仕方（ルール）の指導

校内での利用

- 授業中：担当の先生の指示のもと使用する。
- 休み時間：昼休み・放課後は先生の許可を得て使用する。

家庭への持ち帰り

- 平日：充電が切れそうなとき、クロームブックを使った課題が出たとき、クロームブックを使って学習を行いたいときに自主的に持ち帰る。
- 毎週末：祝日や長期休業前：必ず持ち帰りフル充電して休み明けに持ってくる。
- 土日祝日：長期休業中にはAIドリルを1日1時間以上実施する。

日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

各教科

- 効果的な家庭学習の仕方について生徒へ指導を行う。
（勉強の仕方がわからず、ただページをうめるだけで、頭にはいっていないのに満足している生徒がいる。→効果的な家庭学習の仕方について教科担任が生徒へ指導する。）
- AIドリルやクラスルームで課題を配付したり、ICTで予習した上で新しい内容を教えるなど、家庭学習と授業の連携を図る。
- AIドリルの解答を自主学習ノートに記載し、提出させることで、書く活動や図形問題の理解などを強化する。（デジタルとアナログのベストミックス、書く活動の充実。）

学活

短学活や学活等で、各生徒に家庭学習の目標を立てさせるなど、主体的な取り組みになるように働きかけを行う。